

4月22日 水

基調講演

講演の冒頭に関会式を行います。

A-1

## ポストブロックバスターモデル 時代における革新的新薬開発への期待

9:30▶10:45



厚生労働省 医薬食品局 審査管理課長 森 和彦 氏

新薬の開発は科学技術のめざましい進歩にもかかわらず、年々より困難になっています。世界中の新薬開発企業が目指した大型新薬の開発戦略、いわゆるブロックバスターモデルは既に破綻し、今や難治がんや難病の治療薬の開発を目指す戦略に大きく転換しました。新たな新薬開発戦略に基づき今後登場する画期的新薬への期待と課題として考えられるポイントをご紹介します。

### 10年後のジェネリック医薬品のあり方

特別講演

## ジェネリック医薬品の新たな ロードマップ

A-2

13:00▶13:45



日本ジェネリック医薬品学会 代表理事  
国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野 教授  
武藤 正樹 氏

ジェネリック医薬品の新たなロードマップが2013年4月に厚生労働省より公表された。新たなロードマップでは2017年度末までにジェネリック医薬品の市場シェアを特許切れの医薬品の60%と設定した。しかしこの目標値は思ったより早く達成できそうだ。というのも2014年4月の診療報酬改定によりジェネリック医薬品の使用促進が急速に進んだからだ。講演ではジェネリック医薬品の現状と課題について述べる。

特別講演

## ジェネリック医薬品の今後の 位置付けと方向性

A-3

14:15▶15:00



厚生労働省 医政局経済課長 城 克文 氏

先の診療報酬改定・薬価改定により、平成26年度上半期の医薬品の販売状況は大きく変化した。特に、DPC病院や調剤薬局におけるジェネリック医薬品使用促進策により、市場シェアが急激に増加した。こうした状況の変化を踏まえ、10年後のジェネリック医薬品の在り方を見通す一助となるよう、ジェネリック医薬品の使用促進の取組方向等も含め、今後の方向性について解説する。